

佐世保



移住のススメ
2017

時間

Sasebo Beat



ビートを刻む、 佐世保時間。

幸せに生きるとは、どういうことでしょうか？

楽しい人生を過ごすとは、どういうことでしょうか？

それはきっと、自分らしく生きる。と、いうことではないでしょうか。

佐世保を訪れると分かることがあります。

お祭り好きの陽気で温かい人の心に触れると、

一緒に乾杯したくなります。

九十九島という自然の風景美を眺めていると

海の青さ、空の高さに心地よくなります。

米海軍基地があり、そこから派生したおいしいグルメなど、
街が持つ重層的な歴史と文化に興味が湧いてきます。

そこには感動という確かな鼓動と、

人々が奏でるリズムが広がっているのです。

これこそが「佐世保時間」。

佐世保が奏でる快適なビートに乗って

笑顔いっぱい自分になる。

好きな自分になることこそが、

自分らしく生きるということ。

日本の西端に広がる豊かな場所で

新たな人生のビートを刻み続けてみませんか？

Sasebo Beat

4 × Down Beat
佐世保時間

8 × Up Beat
インタビュー 海老原 靖芳 佐世保かっちえて落語会

12 × 2Beat 心地よいリズムが流れるまち
中倉家の時間 | 先輩移住者 座談会

16 × 4Beat ジャズのビートが響くまち
SASEBO JAZZ | 坂道のアポロン

18 × 8Beat SASEBO ソウルフード
たこ坊 | マルモ水産 | ジェニューイン | 山暖簾

20 × 16Beat 踊るまち
ハウステンボス歌劇団 | THE DISCO SASEBO

22 × 佐世保暮らしのごあんない



9:00
佐世保時間

朝陽を浴びた水槽で
魚のダンスを鑑賞

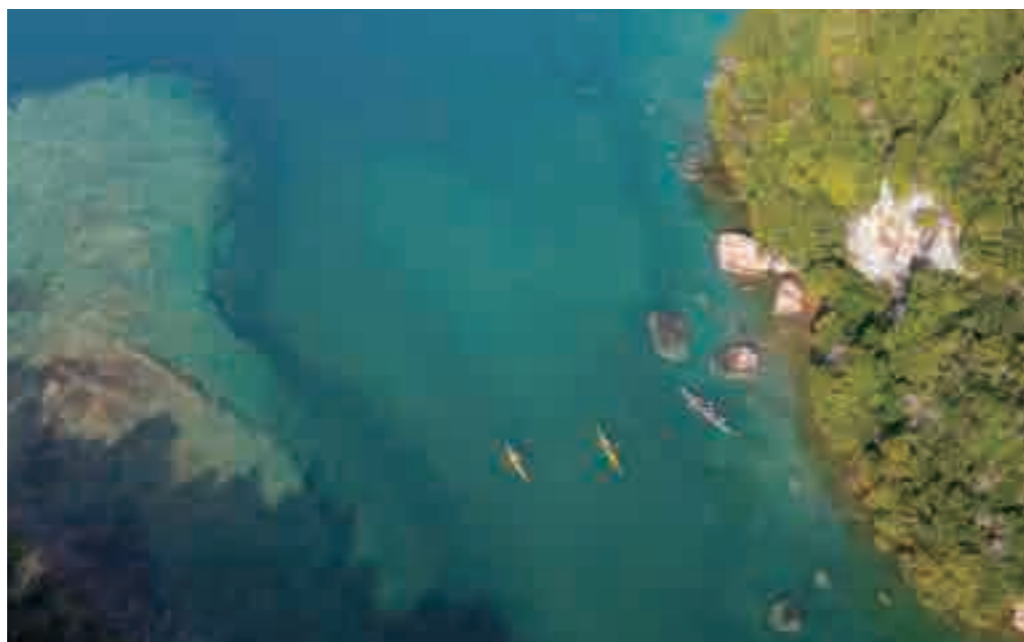


九十九島水族館海ぎらには、国内でも珍しい屋外型水槽「九十九島湾大水槽」があります。朝陽がキラキラと水槽に降り注ぎ、まるで私たちが水中にいるような感覚に。魚たちの得意のダンスも磨きがかかっています！

九十九島パールシーリゾート
佐世保市鹿子前町1008 TEL 0956-28-4187

11:00
佐世保時間

九十九島の海を
カヤックでスイスイ



海と風と島を身近に感じるアクティビティ。それがシーカヤックです。九十九島の入り組んだリアス式海岸と208もの島に囲まれた海は波も穏やかで静か。パドルを一定のリズムでこいで、スイスイと進んでみましょう

12:00
佐世保時間

出来立てアツアツ！
ランチは佐世保バーガー

注文を受けてから手作りする佐世保バーガーは、フレッシュ&ジューシー、そしてボリュームもあって食べごたえ満点！ 味もソースも各店オリジナルという個性いっぱいのバーガーをぜひランチに！



佐世保バーガー
<https://www.sasebo99.com/burger/>



人の声、海の声、街の賑わい。始まりの佐世保ビート



毎月第2・4土曜日の朝6時半から開催されている「せり市」は、破格の値段で商品が競り落とせると大好評！全国的にも珍しいイベントで、最近では観光客の参加も増えています



佐世保朝市事務所
佐世保市万津町73 TEL 0956-25-6893



魚たちもビチビチ会場もワイワイ！売り手と買い手が顔を合わせて会話する時間は、人々の優しさにあふれています。

佐世保を目覚めさせる音は、市民の台所である「佐世保朝市」の賑わい。その日に水揚げされた新鮮な魚や採れたて野菜がずらりと並び、佐世保の朝がスタートします。

朝市の歴史は古く、戦前に佐世保川沿いで自然と始まったといわれています。昭和46年に現在の佐世保港そばに移転。敷地内には鮮魚店・八百屋・果物店・干物店・生花店のほか衣料品などの日用品までがそろい、早朝から賑わっています。

6:00
佐世保時間

一日のスタートは
朝市の賑わいから



佐世保時間
18:00

海の夕陽に感動する
サンセットクルーズ

九十九島遊覧船パールウィーンで、夕陽に染まる九十九島の海へ GO! 刻々と移ろう海の色、島の影、空の風景…。そのどれもがとても幻想的でロマンチック。まさに記憶に残るサンセットクルーズです

九十九島パールシーリゾート
佐世保市鹿子前町1008 TEL 0956-28-4187



佐世保時間
23:00

夜遊びスポットで ゆかいな仲間とカンパイ!

米海軍基地がある佐世保には、外国人向けのバーやジャズバーが点在しています。店の奥から聞こえてくるのはリズムカルなミュージック。フレンドリーな外国人に出会えたら、一緒にトキキング! 国籍を超えた付き合いができるのも佐世保だからこその特権ですね

SASEBOで夜遊び
<https://www.sasebo99.com/gourmet/yoasobi/>



佐世保時間

DownBeat



紅色に染まる夕陽、立体的な夜景。夜へと誘う佐世保ビート



佐世保時間
20:00

西の果てで見る夕陽と
夜空を彩る花火

日本の西端に位置する佐世保は、サンセットが美しいまちとしても知られています。夏は夜7時を過ぎてもまだまだ空が明るく、日が長く感じられるのも特徴です。夜になると市街地からベイエリア、そして四方に囲まれた山々のふもとに続く家々の光まで、美しい夜景が広がります。

佐世保は軍港のまちとして拓かれてきた歴史があり、アメリカ独立記念日のイベントでは花火を上げて祝福。ドドン!と夜空に響き渡る花火の音。佐世保港を美しく彩るイルミネーションとともに、光の共演を楽しむことができます。興奮そのままに立ち寄りたいのが外国人バー。ネイティブな会話が飛び交う空間でクッと一杯。心地よいミュージックに包まれながら佐世保の夜が更けていきます。





屋根に草が生えてる電車は、
特急みどり。

実は、落語が嫌いでした

コント的な動きのある笑いが好きだったので、ホント、落語なんてあんな座布団に座って、お年寄り向けで、何をしゃべっているんだかって思っていました。それがね、今、落語会なんてやっているんだから笑っちゃうよねえ。落語に興味を持ったきっかけはNHKの『コメディ！お江戸でござる』の番組制作。プロデューサーから「江戸の人の気持ちになって番組を作って欲しい」なんて言われて、最初は「なにワケ分からないこと言ってるんだ！」と思いましたが、まっ、そこはグッとこらえて、江戸風俗研究家の杉浦日向子さんに相談したところ「落語をお聞きになるといいのでは？」とアド



バイスしてもらい、早速テープやCDを買ってきて、聞き比べをやったんです。三遊亭圓生、桂文楽、古今亭志ん生。これが実に面白かった。9年間、この番組に携わってきましたが、その間ずっと落語を聞いてたんですよ。これが今につながっていると思います。でも、まさか佐世保でやるなんて思わなかったなあ。



海老原 靖芳

えびはらやすよし

インタビュー



Up Beat
sasebo

● 1953年佐世保市生まれ。県立佐世保南高校、青山学院大学経済学部卒。コピーライターをしていたとき、日本テレビ「巨泉×前武ゲバゲバ90分！」の特番で放送作家としてデビュー。ザ・ドリフターズ、コント赤信号、とんねるず、ビートたけしとたけし軍団などのコント台本を書き、「ドリフ大爆笑」「風雲たけし城」「志村けんのだいじょうぶだぁ」「吉本新喜劇」など数多くの人気番組を手掛ける。2010年に「佐世保かっちえて落語会」を立ち上げたのを機に佐世保へ帰郷。創作落語の台本を担当する



笑いで人を幸せに！
『佐世保かっちえて落語会』で、
軽快な笑いのリズムにハマる



海老原さんは優しく楽しい人。私たちのレベルに合わせて笑わせてくれると笑顔

お咲ちゃん × 古川咲弥 広田中学校3年



人を笑わせることが大好き。落語は人を笑顔にする魔法だ〜と名言を吐く

大家さん × 江口慧 愛宕中学校1年



落語歴1年半。今はまだまだだけど、先生が面白いから練習が楽しくて愛らしい笑顔！

お雪ちゃん × 佐々木雪乃 大野小学校4年



棟梁 × 松尾壮馬 祇園中学校1年



客が笑ってくれると達成感あり。話すことを生かした仕事したいと愛嬌いっぱい！

お京ちゃん × 間京華 佐世保高等専門学校2年



海老原さんは自信を引き出してくれる人。笑いに対する思いが真剣で厳しくも優しい

定吉 × 井上由一郎 佐世保北高校2年



落語歴7年！人を笑わせる落語に出合えて本当によかった。今年12月が最後の舞台



佐世保の子どもたちに 伝えたいのは“地産地笑”

白髪の人もいるのに
黒髪町とはこれいかに。



佐世保という故郷に目を向けるようになったのは、市制100周年記念の企画を依頼されてからです。ちょうど50歳のときです。そのころ、吉本新喜劇の脚本と演出の仕事をしていたので、どうせだったら佐世保オリジナルで面白いことやっちゃおうと、市民100人全員に役とセリフを与えて新喜劇と共演させちゃったんです(笑)。これが結構ウケがよくてねえ。身近な戸尾市場とか、市役所とか地元の名詞を出すだけで大爆笑！私も大声で笑ってたもんですから自分自身ビックリしました。そのときに地元の子どもたちもたくさん出演してくれて、佐世保の子どもはいいな、笑いのセンスあるじゃん！と感心してました。だからこそ、2年後に起こった小6女児同級生殺害事件は：ショックで言葉になりませんでした。故郷の子どもたちのために何かできないか？それが落語というキーワードで結ばれたのは、コント赤信号のメンバーで、落語に取り組む親友・小宮孝泰からの電話でした。「佐世保で落語会をやりませんか？」とね。最初、なんで俺が落語会をしなきゃなんねえんだ！と思っていましたけど(笑)、ふと、子どもたちが前座だったら面白いかもしれない！とひらめきました。



雨が降っても
高天町というがごとし。



笑いとは、 人と人を結ぶ大切な信頼関係

こうした思いがあった、「佐世保かっちえて落語会」をスタートさせたのが2010年。かっちえてとは仲間に入れてという意味です。年に2回のペースでプロの落語家を呼び、その前座として地元の子どもたちが出演します。対象は小学生から高校生で、地元の名称や方言を取り込んだ創作落語を私が脚本し、表現することの喜び、日本語の豊かさ、佐世保の親しみある人情を知ってもらいたいと思っています。まさに地産地笑ですね。

この落語会の出演メンバーですが、第一回は柳家喬太郎に小宮孝泰、それから瀧川鯉昇、春風亭昇太、柳家喜多八、林家正蔵、柳亭市馬、三遊亭歌武蔵、入船亭扇遊、桃月庵白酒、柳家三三、春風亭一之輔、立川志の輔！

すごいでしょ？これだけの噺家が来てくれるのは、佐世保だけ。私のおかげです(笑)。そういえば落語家にはJAZZ好きが多いんですよ。正蔵さんはトランペットを吹き、JAZZの本まで出してるし、昇太さんはトロンボーン。JAZZビアニストの山下洋輔は落語好きですし、落語とJAZZは、間やリズムをそしてアドリブまでよく似ているんでしょうね。



第14回かっちえて落語会 林家正蔵(左から2人目)、入船亭扇遊(右)

JKは女子高生のこと。
HKTは本田蒲鉾店よ。



第13回かっちえて落語会 前列左から春風亭昇太(3人目)、瀧川鯉昇(5人目)、瀧川鯉ん(6人目・佐世保市出身)



実は、この落語会には20人を超えるボランティアスタッフがいます。自分の同級生も多いのですが、子どもたちのお父さんお母さんのサポートもあって、「佐世保かっちえて落語会」は今年で15回目を迎えます。こういうふうにしつづけていく理由、それは熱いハートとピットを持った人が佐世保には多いから。それを実感できるから心底うれいし、佐世保に生まれて本当に良かったと思います。笑いとは人間関係の基本です。空気と同じように必要なことです。世の中がおかしくなったら笑いが消えていく。だから私たちは落語をやり続けるのです。



森きららで
笑ってるシカは、おかシカ。



中倉家の時

NAKAKURA FAMILY



長崎の教会群や佐世保の街のほかにブータンなどさまざまな風景・人を撮影するカメラマン。2017年春には、日本写真文化協会平成28年度全国展で準特選を受賞



枝豆、そしてピーナッツ・キャベツは年中できるかな。毎日採れたての野菜を食べているから子どもたちもホント元気。やっぱり土と触れる生活はよかね。自分はずっと佐世保で生まれ育ち、東京で撮影の仕事をしていただけ、40歳のとき、農業、に興味を持ち、生まれ故郷である佐世保に帰ってきました。そして有機農業に取り組み団体の活動で妻に出会い結婚。自然と共に暮らす心地よさを満喫しているところです(笑)。

この家もね、4年前に建てました。それまで海に近い鹿町町に住んでいたけど、もっと畑ができる場所に引越したいと、いろいろ土地を探していましたが、そしたら妻がある日「いいところがあった!もうここしかない!というところがあった!」と興奮して電話してきてねえ。実際、周囲は山に囲まれ、風もとっても心地よく素晴らしい場所でした。学校が近くにあったのも決め手ですけどね。



佐世保市出身の奈津美さんは、もともと高校の美術の先生。優しいタッチの水彩画で家族や畑、野菜などを描き、雑誌などの挿絵やハガキにも!



畑仕事は、種まきから収穫まで、子どもたちが楽しんで手伝ってくれるのがいい。言っとくけど、うちで採れる野菜は八百屋で並ぶようなキレイなものばかりじゃなか。失敗もするし、虫喰いもいっぱいある。とにかく自分たちが食べられるもんを作ればよかけん、肩ひじ張らずにできる。だから、そんな見た目はばかりの野菜は作つたらんとよ。「でも、味が全然違うよ!」。おっ!天風、本物の味が分かるからねえ。ありがとう。自分で食べるものを自分でちゃんと作る。畑があることが中倉家の理想であり、幸せだね。



今年11月には5人目が誕生するという中倉家。「自分もお姉ちゃんになるんだよ」と笑顔で話す三女の涼音ちゃんがお母さんのおなかに耳を当てる。そこには佐世保という大きな大地が育んだ、小さくも力強い命のリズムが流れている。



中倉家には、蚊。以外の虫は殺したらダメというルールがあるんです。親というものは、命の大切さを教えていく役割がある。だから、家の中に入ってきたゴキブリもムカデも!みんな虫網ですくって外に逃がします。小さな命も大切にすることをほしい。命を粗末にするようだと、自分の命さえ粗末にするような気がするんです。生かされているということ強く意識してもらいたいから、ごはんを食べるときも、命をいただきます。という気持ちを持って、日頃から言っています。



心地よいリズムが流れるまち



お父ちゃん
中倉 壮志朗
57歳 / 写真家

お母ちゃん
中倉 奈津美
39歳

てんふう
長男・天風くん
小学6年

すずね
三女・涼音ちゃん
4歳

はるかぜ
次女・春風ちゃん
小学2年

あまね
長女・天音ちゃん
小学4年

先輩移住者
「中倉さん一家」に
インタビュー
2Beat
sasebo

NAKAKURA FAMILY

中倉家の時



「おっ。お昼ごはんのできたぞ。みんな席に着け!今日は野菜たっぷりスパゲッティぞ」。この家の主である中倉壮志朗さんが声を掛けると、4人の子どもたちが円卓に集まってくる。自らお皿を運び、アツアツに出来上がったスパゲッティが盛り付けのを待っている。付け野菜は採れたてトマトとキュウリのサラダ。お皿にかぶりつきながらパクパク、ちゅるちゅる。中倉家のランチタイムはものの5分で終了した。

子どもたちと一緒にごはんを食べる時間が、中倉家の元気の素だね。一緒に畑の手入れをして収穫まで。野菜は自給自足で生活しているつもり。夏の季節はトマトにキュウリ、ナスにピーマン、



心地よいリズムが 流れるまち

2Beat Sasebo

先輩移住者 座談会

Sasebo Life

いろんな巡り合わせで佐世保に住むことになった3組のご夫婦。日々の生活は？移住してみて気付いたことは？佐世保の美味しいグルメを味わいながら、仕事と自分時間を話していただきました！

里村睦弓さん



牧場を経営する夫と出会い、主人の故郷である佐世保に嫁に来て15年になります。

愛知県で育った私にとって、佐世保はアメリカ人がたくさんいて、みんな英語が話せて、ヤシの木がたくさん生えている南国のイメージがあったのですが、来てみてビックリ！雪は降るし、そこそこ寒い。アメリカ人も思っていたほど多くなく、加えて、遊びに行く、遊びに来る、という方言の違い！ものすごいギャップを感じましたね。

山内由紀さん



そのギャップ分かります。私は大阪で家庭を持ち10年近く住んでいました。そして、漁師の跡を継ぐ、という主人と一緒に黒島に移住してきたのですが、1日の過ごし方がガラリと変わりました。大阪では共働きだったので、夕方6時に仕事が終わると子どもを迎えに行って夕食作り。あつという間に夜の10時！というバタバタの日々でした。ところが、島に来た途端、何もすることがない。

通らない細道を歩いていると、一体どこまでつながっているのかワクワクしちゃうね。そして、80歳を超えたおばあちゃんがりユックを背負って買い物に出掛ける姿には、ホント関心しますよ。元気のいいお年寄りが多いのは、この坂道のおかげかな？あと、温泉ね。世知原温泉の露天風呂はエクセレント！秋から冬にかけて行く温泉は、自分にとって最高の時間になっています。



黒島産の野菜と九十九島岩がき



「佐世保は山が近く、自然も最高！」

「海と山のバランスもいいから、グルメも最高！」

「ウーメー！」

「佐世保は山が近く、自然も最高！」



主人と義父が漁に出る夕方4時までに夕食を食べるのですが、料理も畑に行って野菜を採るところから始まるんですよ。白菜をもぎ取り、バラバラ出てる虫を振り落とし(笑)、一枚一枚キレイに洗って調理開始。鳥では下ごしらえに2時間かかるので、仕事をしていたときと鳥暮らしとは料理時間がずいぶん変わりました。一日中台所に立っているときもあるくらいです。



トミコ・インヤードさん



私たち夫婦は、アメリカオレゴン州から佐世保に移住してまだ一年半くらいです。英会話教室を経営しながら、定期的に散歩するのが日課になっています。佐世保のまちを歩いて一番思うこと。それはジロジロ見られない。佐世保市民は外国人に慣れているからでしょうか、普通に接してくれるのが、私たちがとって一番のストレスフリーになっています。

山内由紀さん



最高の時間、確かに。私の鳥暮らしは、のびのびと生きることができると。大阪ではストレスで呼吸困難になったときもあったのですが「今はやすやす寝てるよね」と主人から言われたとき、「ここにきてよかったと思いました。土と海に触れ、そして周囲の人々の優しさに触れながら生活できる鳥暮らしがどれだけ素晴らしいか、改めて実感しています。あ、揺



里村睦弓さん



周囲の親切。つまりコミュニティニティがしっかりしているということですね。佐世保の人々とはにかく優しいと思います。まあ、私たちの牧場がある柚木地区は、佐世保の中でもチベットの山奥だから特別なのかな？(笑)「近所さんは私のことを「むっちゃん」と気さくに呼んでくれて、家族のような付き合いをさせていただいています。あとは、佐世保で強い酪農を続けていくために、よい牛を育てて、おいしいチーズを作っていくこと。ねっ、たかしちゃん！

里村貴司さん



お、やっと俺の出番だな。そうですね。嫁が、食と農、についていろいろと勉強してアイデアをたくさん出してくれます。それをロジックにするのが自分の役割。今では「酪農教育ファーム」の認証牧場にもなっています。未来を生きる子どもたちに、食、と、命、について学んでもらい、この豊かな佐世保をもっと深く知ってもらいたいと思います。



里村牧場 Fioreのチーズ

自然も人も
ちょうどいい！
ストレスフリーな
佐世保暮らし



里村貴司さん・睦弓さん



貴司さんは昭和36年から続く「さとむら牧場」の3代目。2002年、結婚を機に就農した睦弓さんは愛知県出身。結婚後、長崎県立大学、九州大学大学院へと進学し農学博士を取得。現在3つの大学で講師を務め、酪農教育ファシリテーターとしても活躍。6次産業確立のため「チーズ工房 Fiore (フィオーレ)」も立ち上げる。小・中学生の子ども2人を育児中！

ウェスリー・インヤードさん・トミコさん



ウェスリーさんは20歳のときに宣教師として初めて日本へ。1976年から福岡の教会で活動し、1980年にトミコさんと結婚。4人の子どもの教育のためアメリカオレゴン州へ。そして知人の英会話教室を引き継ぐため約13年ぶりに日本へ戻り、佐世保で2人暮らし

山内由紀さん



長崎市出身。10年間の大阪生活から、ご主人の故郷である佐世保の黒島へ移住。現在は島にある「Cafe海咲(みさき)」の店長。黒島のカトリックと仏教が交わる深い歴史に惹かれ、独自に取材。「海咲通信」の発行と「くろしまっぶ」の制作、Facebookなどで黒島の魅力を発信！子ども2人は成人し、第二の人生を送っている

ウェスリー・インヤードさん



イエス。だから散歩するのも楽しいです。佐世保市内の小路、ベリーナイス！山に囲まれているから坂道も多いし、車が





佐世保を舞台に描かれた 漫画「坂道のアポロン」

佐世保出身漫画家 小玉ユキ作品

漫画「坂道のアポロン」は、1960年代の佐世保を舞台に、友情・恋心・音楽がまぶしく交錯するストーリー。ジャズの旋律と共に描かれた作品には、SSK、眼鏡岩、黒島の教会や、古い佐世保の街並みが数多く登場します。待望の実写映画化が決定し、2018年には全国ロードショーを控えるなど、もうひとつのジャズビートが全国へと響き渡ります。



©小玉ユキ/小学館



もうひとつのジャズビート

TAKUTO
YAMACHIKA

佐世保ジャズ界
期待のホープ
山近拓音



「東京やアメリカで音楽活動しながら、
将来は自分のバンドで佐世保ジャズ
フェスに参加するのが夢です。」

1998年生まれ。中学生のときにリットーミュージック「最強プレイヤーズ・コンテスト2011」にてグランプリ受賞。2017年春に佐世保北高校を卒業し、9月からアメリカボストンのパークリー音楽院へ入学



KEITA
OGAWA

グラミー賞受賞
佐世保出身の
パーカッショニスト
小川慶太



「佐世保はアメリカの音楽の影響が昔から
とても濃く染み付いていて、そしてそれ
が僕の音楽の原点になっています。人も
温かく、とても素敵な故郷です。」

佐世保市出身。パークリー音楽院卒。2005年渡米。ブラジル留学も経験し、ヨーヨーマをはじめボストン・シンフォニーオーケストラなどジャンルを超えて現在の音楽シーンを代表する世界のトップアーティストたちと共演し続けている。2014、2016年グラミー賞を受賞したバンド「スナークーパビー」のメンバー。ニューヨークを拠点に、世界各国で活躍中

AR動画が見られます



ジャズの ビートが 響くまち

4Beat × sasebo

人間の鼓動に直接響く、
温かくも優しいリズムに
包まれるまち「佐世保」。

なぜ、佐世保はジャズのまちとして有名なのでしょうか？ それは明治中期に日本海軍の鎮守府として拓かれ、1945年の戦後間もなく始まった朝鮮戦争までさかのぼります。米海軍基地が置かれた佐世保は、朝鮮戦争の最前線として多くの米海軍関係者が集結前線に出ていく兵士たちのために娯楽産業が発展します。1951年〜1960年頃までには民間のダンスホールやキャバレーが15カ所ほど、米海軍関係のクラブが9カ所、バンド数になると30以上もあり、200人を超えるミュージシャンが、この小さなまちでプレイ

していました。昼夜問わず佐世保のまちに流れるジャズのビート。それを想像するだけで時を超えます。

しかし次第に、時代はロックへと移り変わり、今にもジャズの音が消えそうな1972年、無謀にも「JAZZ SPOT いーぜる」を開いた人がいました。当時23歳だった山下ひかる氏。「ジャズは必ず佐世保の観光資源になる」という強い思いでファンクラブを立ち上げ、1990年に実現した小さなステージは、今日のジャズフェスティバルへとつながっています。まさに、佐世保ジャズを愛した男。しかし昨年2016年に逝去。その人生は佐世保ジャズの復活と、人材育成に尽くされたものでした。

「ひかるさんとの出会いがなければジャズとの出会いもありませんでした」。わずか5歳でドラムに触れ、小学6年生のときにジャズに目覚めた若き少年・山近拓音



故山下ひかる氏

JAZZ SPOT いーぜる
佐世保市下京町3-1 ラテスビル2F
TEL 0956-25-1170

さんは、中学生のときにアマチュアとしては最高峰となるドラムのコンテストでグランプリに輝きました。今や、佐世保ジャズ界のホープとしてその活躍が期待されています。華奢な体からは想像できない力強いドラム。それは心をつつぽどハードだったり、心地よいタイムキープだったり、観客のハートをグッと捉えて離さない魅力があります。佐世保のまちに響くジャズのビート。それはヘッドホン越しの音ではなく、人間の鼓動（ビート）に直接響く、温かくも優しいリズムに包まれているのです。

劇場版「坂道のアポロン」 待望の実写映画化！ 2018年 全国ロードショー

知念侑李 中川大志 小松菜奈
真野恵里菜 中村梅雀 ディーン・フジオカ
監督：三木孝浩 脚本：高橋泉
原作：小玉ユキ「坂道のアポロン」(小学館「月刊flowers」F C α刊)
配給：東宝=アスミック・エース
制作プロダクション：アスミック・エース、C&Iエンタテインメント



海に浮かんだ筏の上で炭焼きなんて、その雰囲気だけでも大満足！九十九島特有の景色も楽しめます



一年を通して九十九島かきの炭火焼が味わえる。冬が旬の「真ガキ」に対して「岩ガキ」は6~8月と夏が旬!! 1kg1,500円

マルモ水産 海上かき焼き小屋
佐世保市船越町944
TEL 0956-28-0602

SOUL FOOD 02 九十九島かき - OYSTER -

**アツアツハフハフ！
海のミルクに感激**
蛭川さんにとって移住のきつかけとなったのが「九十九島かき」。熱海にいたころ、牡蠣を炭焼きにして食べたいという話になりネット上で殻つき牡蠣を検索。牡蠣といえば広島と思っていたのに、佐世保の九十九島がヒット。その意外性に興味を持って試しに頼んでみたという。これが実においしかった。見た目は小さいのに中身はぎつしり、味も濃厚。その時は冬の真ガキだったようだが、今では夏の岩ガキをBQで味わっているそう。「レモンや橙など柑橘系を絞ってチュルツと味わうとまた最高なんです」。蛭川さんの目が輝く。



くわ焼きの店 たこ坊
佐世保市湊町3-18 TEL 0956-23-5869

奥様手書きのメニューが並ぶカウンター席。その後ろには、「ちゃぶ台」と大将が呼ぶ、折りたたみテーブル席が3つ。仕事帰りのサラリーマンなどで賑わう



SASEBO

ソウル フード

移住コーディネーター
「蛭川」オススメの

Soul Food

SOUL FOOD 03 スイーツ - SWEETS -

鮮やかなケーキに迷ってしまう！
ブルーベリーにマンゴー、イチゴなど季節の果物をたっぷり使ったフレッシュケーキはどれもボリューム満点で魅力的。「ケーキを前に、迷う」という声を聞くと、ヨシーとガッツポーズしちゃいます」と話すのは、パティシエールの西春菜さん。福岡や東京、香港で修行を積み、佐世保にUターン。



外には喫茶スペースがあり、おいしいケーキを食べながらゆったり過ごす時間が好き

学生のとまからお世話になってきたこの店の先代の跡を引き継ぎ、新しい風を吹かせている。「お店に入るとテンションが上がりますよ。見た目も愛らしいので、デコレーションケーキが好きなんです」と蛭川さんもメモロ！毎日スタッフと新作を考えているという西さんは、スイーツで佐世保を盛り上げていきたいと話す。パワフルな西さんの人柄も、この店のもう一つの魅力なのだ。



洋菓子 ジェニユイン
佐世保市名切町1-2
TEL 0956-25-8001

ケーキの前に立つと、自然と笑顔に。これでこの値段？と心配してしまうほどフルーツ盛りだくさんのケーキに一目惚れ！

SOUL FOOD 04 お米 - RICE -

標高約777mの国見山を源流とする佐々川が流れ、朝晩の寒暖差からおいしいお米が育まれるんです

天空の宿 山暖簾
佐世保市世知原町上野原316
TEL 0956-76-2900

**甘くて美味！
佐世保の艶ごはん**
蛭川さんいわく、「佐世保のお米は海の幸に負けないおいしさ」なのだそう。いろんなブランドがあるが、世知原のお米は、ほどよい甘みとモチモチとした弾力、しかも粒がそろい艶があると大絶賛！ならば食べに行かねばとやってきたのが温泉宿「山暖簾」。国見山を臨む眺望美しい場所にあり、バリ島のウブドのよう！と蛭川さんも興奮気味。さらに食事も温泉も楽しめるからリゾート気分も。そんな中で味わったのが県産牛網焼定食。「肉汁たっぷりの牛ステーキがごはんも本当によく合います」と蛭川さんもお米だね。やっぱり日本人はお米だね。



県産牛網焼定食1,500円は、山暖簾に併設する「レストラン国見」で味わうことができる



SOUL FOOD 01 くわやき - KUWAYAKI -

安くてうまい！
佐世保の人情店

「くわ焼き。って何だろう？」と興味を持ちながらも、なかなか一人で暖簾をくぐることはできなかった店が「くわ焼きたこ坊」。職場の方の誘いで、一年かけてようやくたどり着いたその味は、蛭川さんの胃袋をわしづかみ。彼女の魂を揺さぶった味を求めて、一緒に暖簾をくぐってみた。穏やかで物腰の柔らかい大将と奥様が笑顔で迎えてくれるこのお店は、40年という時を感じさせてくれるアットホームな空間。甘辛く味付けされたアスパラの豚巻、ピーマンの

肉詰め、とん平など、種類豊富なくわ焼きを素早く焼き上げる手際の良さには、職人魂が感じられる。聞けば、長崎出身の大将は、東京・大阪で料理を修行。これは地方でもイケると、大阪名物「くわ焼き」を佐世保に持ち帰り、店を構えたJターン組。地元の新鮮な食材を使って佐世保流に仕上げた「くわ焼き」は、ここが発祥の地と疑われない市民もいるほど。「ビックリするほどおいしくて、ビールも進みますよ」。蛭川さんもすっかりなじみ客となったようだ。

蛭川麻季子(ひるかわまきこ)
熱海出身。縁あって一年前から佐世保へ移住。
現在、佐世保市移住コーディネーターとして活躍中

8Beat sasebo



ショーの締めくくりに流れるハウステンボスのテーマソング「夢の扉～welcome HUIS TEN BOSCH～」は観客も一緒になって歌唱。優雅さんはトップスターの象徴である大きな羽根を背負ってさらに観客の近くへ!



現在「チームシャイン(光)」「チームフラワー(華)」「チームハート(心)」そして新チームとなる「ブルーローズ」の4チームに約60人が在籍。4チームが新演目を定期的に入れ替え公演しています

「音楽のジャンルが豊富な佐世保は、居心地がよくて癒やされます」

ハウステンボス歌劇団

● トップスター 優雅

福岡県出身。1996年に宝塚歌劇団に入団し芸名：研ルイスとして月組に配属。2011年に退団後、ハウステンボス歌劇団へ。2015年9月にはアルカス佐世保で特別公演、2016年4月からは愛知県のラグーナテンボスでも公演スタート



ハウステンボス歌劇学院

歌劇団の未来を見据えた人材育成にも力を入れ

九州初となる歌劇団として、結成当初は宝塚歌劇団やOSK日本歌劇団の出身者を中心に16名が集まり、野外のテント劇場からスタートしました。「それから半年でステージとなるMUSE HALLもできましたし、舞台人を養成するハウステンボス歌劇学院も開校。設立時からの仲間との強い絆が原点となり、ハウステンボス歌劇団の歴史をもっと作っていききたい」とトップスターの優雅さん。ハウステンボス歌劇団の発足当時から先頭に立ち続けている優雅さんは、

「文化とはお客様が創っていくもの。その過程にまちの発展があるのです」

「佐世保をこのイベントでどうにかリズムの街にしたい」と森下さん

九州初

となる歌劇団

ま



ハウステンボス歌劇団

AR動画が見られます

踊る

夢のリズムへと誘う

ハウステンボス歌劇団



華やかな衣装、迫力ある歌とダンス、そして胸ときめくストーリー。憧れのトップスターやキャストたちが、観客のそばまで歩み寄り歌って踊るといふ距離の近さ!さらに目が合うようなことがあれば...もう心奪われて当然です。まさに夢の世界へと誘う華麗なショー。それは佐世保で花開いた『ライブ歌劇』であり、ハウステンボスに新たな歴史を刻み続けています。

今年2017年7月に結成から4周年を迎えたハウステンボス歌劇団は、このまちで長く続



● ハウステンボス歌劇団 坂本和子

日本とカンボジアの国交樹立60周年記念国際文化交流イベント公演などを実施。2013年からハウステンボス歌劇団を創立し、劇団生の育成に尽力



「文化とはお客様が創っていくもの。その過程にまちの発展があるのです」

「観光ビジネス都市にしたい」と澤田秀雄社長の意思をくみ、それを実現するには文化が必要だと考えました。歌舞伎や文楽など日本には素晴らしい文化がありますが、ハウステンボスに合うのは、歌劇。だと思ったのです」。

「ローカルディスコ」がオモシロイ by TAKA-P

カッコつけない

懐かしのディスコが世代を超えろ!!

The DISCO SASEBO

軽快なリズムと巧みなDJでノリノリに踊りまくる「ディスコ」。1980年代後半から90年代初めのバブル時代に流行したあのリズムをもう一度復活させようと、3人の仕掛け人が佐世保を盛り上げています。動物病院経営の松尾孝彦さんと、「マハラジャ」でDJをしていたダンススタジオ、経営の森下潤一さん、そして現役DJの荒巻嗣嗣さん。平均年齢50歳で、大バコ(天型)ディスコの全盛期を知っている世代ばかり。子育てもそろそろ終わり、大人の遊び時間を楽しくもりたいと「THE DISCO SASEBO」というイベントを不定期で開催しています。

「今の若者に、見ず知らずの人と一緒に音楽と踊る楽しみ、最後はみんながフレンズ!という、DISCO空間の素朴らしさも味わって欲しいね」と荒巻さん

「佐世保をこのイベントでどうかリズムの街にしたい」と森下さんは考えています。とにかくムあふれる街で音楽というも楽しんでもらえたら」と森下さん



有効求人倍率は長崎県内トップで、仕事を探している人の数より求人のほうが多いという状況です。市内企業への就職あっせん、職業相談ができる無料職業紹介所「**させぼお仕事情報プラザ**」がサポートします。

0956-76-7713

そのほか、創業支援・農業・漁業人の就業支援などを行っています。



子どもの遊び場は充実していますか？

市内には約420もの公園があるほか、九十九島水族館海きららや九十九島動植物園森きららなど、親子で楽しめる施設もあります。



子育てしやすい街ですか？

保育コンシェルジュを配置し、さまざまな育児の相談に応じています。子どもを安心して産み、育て、健やかに成長できる環境づくりに取り組んでいます。

0歳～中学生までが対象の福祉医療費制度あり！



医療機関は充実していますか？

病院・診療所が約200件、歯科診療所が約140件あり、日曜・祝日に受診できる市立急病診療所や在宅当番医があります。また、県内3カ所目となる救命救急センターが佐世保市総合医療センターに開設されました。



インターネットの利用環境はどうですか？

一部地域を除き市内ほとんどのエリアで光インターネットサービスが利用できる環境にあります。



都市の将来性はどうですか？

全国主要100都市を対象とした「成長可能性ランキング」(平成29年7月、野村総合研究所)で佐世保市は総合10位に選ばれました。多様性を受け入れる風土や移住者にやさしく、適度な自然環境で仕事ができる点などが評価されました。



暮らしの移住支援制度

● 佐世保市奨学金等返還サポート制度

佐世保市内に定住し、就業した「チャレンジする若者」に奨学金の返還実績の一部を10年間交付します。

※いずれも条件等がありますので、詳しくはサポートプラザにお問い合わせください。

● 佐世保市移住就業支援助成金交付事業

佐世保市内に移住し、かつ就労する方に、その引越に係る経費の一部を補助します。

私たちがお手伝いします!!

させぼ移住サポートプラザ

佐世保市新港町8-1(新みなとターミナル1階待合ロビー横)
(相談時間) 平日8時30分～17時15分
(土・日曜、祝日、夕刻は要予約)
TEL 0956-25-9251 FAX 0956-25-3311
E-MAIL uji-turn@city.sasebo.lg.jp

フェイスブック「させぼ移住サポートプラザ」でも佐世保暮らしを情報発信しています。

佐世保移住サポートサイト
<https://www.city.sasebo.lg.jp/99life/>

移住応援 Tokyo Office

— 佐世保市東京事務所 —

千代田区平河町2-4-1
日本都市センター会館11階
TEL 03-5213-9060
FAX 03-5213-9063
E-MAIL tokyo@city.sasebo.lg.jp

佐世保暮らしの ごあんない

公共交通機関の利便性に優れ、災害も少なく、医療や子育て分野などにおいても、大都市と大きく変わることなく、安心して暮らせる街と言えます。また「海が見える暮らし」「自然豊かな田舎暮らし」「市街地の便利さ」など、ライフスタイルに応じた生活を選べる街ということも大きな魅力です。



地震、台風などの災害はいかがですか？

1947年の観測開始から現在までの最大震度は震度4で、比較的地震活動が穏やかなところ。気候は温暖で、寒暖差も小さく、台風上陸も少ないです。



全国
第1位

今後30年までに震度6以上の地震が発生しない確率



市内の主な移動手段は？

主に車とバス。佐世保駅を起点としてJRと松浦鉄道が走っています。



賃貸住宅の家賃相場は？

郊外や斜面地は比較的安価です。
(例) 3DKマンション 約3.5万円～/月額

中心部の平地は割と高めです。
(例) 3DKマンション 約6万円～/月額

住まいの移住支援制度

🏠 佐世保市空き家改修補助事業

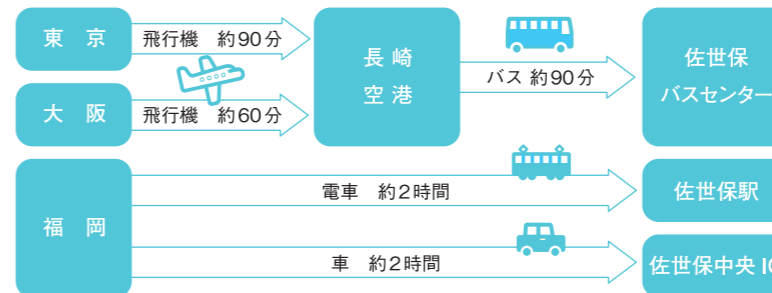
佐世保市内の中古不動産を取得・改修して移住される方に、その改修費用の一部を補助します。

※いずれも条件等がありますので、詳しくはサポートプラザにお問い合わせください。

🏠 市営住宅UIターン促進事業

特定エリアの随時募集の市営住宅に入居される場合、家賃3カ月相当額の補助、入居時に必要となる敷金を全額免除します。

[アクセス&マップ]



HERE!!

アンケート & プレゼント

「佐世保時間」を読んでアンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で「佐世保のBeat」を感じていただける、宿泊券や特産品をお届けします。ハガキかEメールでアンケートに答えてご応募ください。



1 名簿

① ハウステンボス 散策チケットと佐世保宿泊券

ハウステンボス散策チケットと佐世保のホテル・旅館でご利用できる宿泊券(20,000円相当の宿泊代金として使用できます) ※対象施設で使用できます。ふるさと納税カタログでご確認ください。

[宿泊券] (公財) 佐世保観光コンベンション協会 ☎0956-23-3369

[散策チケット] ハウステンボス総合案内 ナビダイヤル ☎0570-064-110



2 名簿

② 佐世保発祥!! 佐世保レモンステーキセット

レモン風味の醤油ベースソースが日本人の口にマッチする、佐世保ご当地グルメの代表格「佐世保レモンステーキ」セット。厳選されたA5等級の長崎和牛とソースをセットで!

和伊懐石 縁en ☎0956-25-8378



2 名簿

③ 佐世保の酒蔵飲み比べ

江戸時代から継承された酒造りを続ける梅ヶ枝酒造と潜龍酒造が、厳選した地元の米と水で造り上げた地酒セット。ぜひ、飲み比べてください

酒の一斗 ☎0956-64-4747



2 名簿

④ さとむら牧場チーズセット

大自然の中で育った乳牛から搾ったおいしい牛乳を、手間ひまかけておいしいチーズに作り上げました。ぜひ、ご賞味ください ※商品内容が異なる場合があります。

さとむら牧場 Fiore ☎0956-46-1809

応募方法

ハガキまたはEメールに①～⑤を明記して、下記の宛先にお送りください。

- ① ご希望のプレゼント番号
- ② 本誌の感想(4択)
- ③ 郵便番号・住所
- ④ お名前
- ⑤ 年齢
- ⑥ 性別
- ⑦ 電話番号
- ⑧ その他の感想やご意見

ハガキ

〒857-8585 住所不要
佐世保市役所秘書課「佐世保時間」事務局

Eメール

hishok@city.sasebo.lg.jp
(件名に「佐世保時間プレゼント」と記入してください)

応募は1人1通まで。当選者の発表は発送(12月下旬予定)をもって代えさせていただきます。

締め切り

12月8日(金) ※ハガキは当日消印有効。

スマホで

QRコードを読み取って
カンタン応募!!



佐世保時間



【表紙】

佐世保東翔高校吹奏楽部

部員数69名の東翔高校吹奏楽部は、吹奏楽だけでなくマーチングにも取り組んでおり、共に長崎県を代表するレベルで、九州・全国の舞台上で活躍しています。また、地域の音楽文化向上にも力を注ぎ、年間のステージ数は70を超えます。吹奏楽の新しい可能性を常に追い続け、地域に愛されながら、さらなる感動を求めて、より大きな舞台の待つ「東」へと飛翔すべく、日々努力を続けています。

平成29年10月1日発行

発行 佐世保市総務部秘書課広報係
〒857-8585 長崎県佐世保市八幡町1-10
TEL 0956-24-1111 FAX 0956-25-2184
Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp

制作 株式会社アクト
〒857-0131 長崎県佐世保市大野町231-21
TEL 0956-49-6801 FAX 0956-56-6615

掲載内容は、平成29年9月現在のものです。変更される場合がありますのでご了承ください。本誌の無断複写・転載を禁じます。



AR動画が見られます!

スマホにCOCOAR2をインストール▶

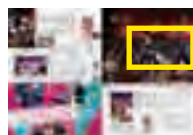
※一部対応していない機種もあります。



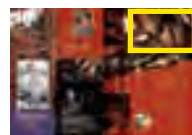
▼AR動画を見てみよう▼



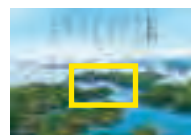
▼以下のページの□部分でスマホをかざすとAR動画が見られます▼



P20



P16



P23